

青少年委員だより

人と人とのつながりの大切さ

第162号



青少年委員の皆さまには、区内の各地域において健全育成活動にご尽力くださっていることに感謝申し上げます。

コロナ禍の約3年間、様々な制限をされた中で、活動を継続するために工夫されてきたことと思います。そして現在、江戸川区はコロナ禍を乗り越え、地域での活動が動き出しました。

皆さまが未来を担う若い世代へのあふれんばかりの愛情を注いでくださることで、江戸川区の子どもたちは地域を愛する豊かな心を育みながら大きくたくましく成長しています。

そうした中で私自身、あらためて「人と人とのつながり」の大切さを実感しました。今後の区政における最も重要な課題の一つが「少子化への対応」です。経済的な支援はもちろん重要ですが、区が取り組むべきことはそれにとどまらず、温かな思いやりの中で助け合い、支え合いながら子どもを生み育てることができ、環境を整備することだと考えています。

未来を担う子どもたちは「地域の宝」であり「希望」です。今後とも子どもたちの健やかな成長のため、ご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。



未来を担う子どもたちは
「地域の宝」
江戸川区長 齊藤 猛

青少年委員制度70周年記念活動記録パネル

江戸川区青少年委員会では、70周年を記念して、活動のPRを目的としたパネルを作成し区内各所に展示しています。展示スケジュールやパネルについて、詳しくは二次元コードから区ホームページをご覧ください。

詳細はこちら



日にち	行事・施設名	展示場所
7月30日(日)	おもしろば〜く	葛西区民館
8月27日(日)	おもしろば〜く	葛西区民館
9月2日(土)	東京都青少年委員会連合会城北ブロック研修会	タワーホール船堀
9月3日(日)	南小岩まつり	南小岩二丁目公園
9月23日(土)	鹿本小学校PTAこじかフェスタ	鹿本小学校
9月24日(日)	おもしろば〜く	葛西区民館
10月8日(日)	江戸川区民まつり	都立篠崎公園
10月15日(日)	小松川平井ふるさとまつり	小松川小学校
10月15日(日)	葛西まつり	葛西区民館
10月22日(日)	中央・一之江ふるさとまつり	一之江もこの郷(予定)
11月5日(金)	北小岩まつり	小岩公園
11月12日(日)	東部地域祭	東部公園



展示パネル



い で が み な お ひ ろ 井 手 上 尚 弘 鹿 骨 地 区 部 会 (京 葉)
 た か は し ま さ み 高 橋 雅 美 小 岩 地 区 部 会 (下 小 岩)
 つ が ね さ と る 津 金 悟 小 岩 地 区 部 会 (下 小 岩)

令和5年5月1日委嘱 令和5年5月1日委嘱 令和5年5月1日委嘱

新委員紹介

江戸川区青少年委員ホームページ



こちらの二次元コードを読み込んでいただくか、「江戸川区青少年委員」で検索してください。

江戸川区青少年委員 検索

今号の巻頭文は齊藤江戸川区長に寄稿いただきました。区長さんの江戸川区の子どもに未来を託す思いが記されています。

是非もう一度改めてお読みください。

また新たな企画として青少年委員紹介をはじめました。各地区の青少年委員の人物や活動への思いを紹介していきます。

今後とも期待ください。

あともがき

地域まつりで 青少年委員が活躍!!

小岩中部地域まつり

5月14日、4年ぶりに行われた小岩中部地域まつりは、校舎建て替えが昨年完成した小岩小学校に会場を移して開催されました。

80人を越える小岩一中ボランティアにはゲームコーナーやステージで活躍してもらいました。

できたばかりの校庭とピカピカな体育館を使い、たくさんの人たちを楽しんでもらえたおまつりでした。



下小岩縁日まつり

ゴールデンウィーク初日に開催した下小岩縁日まつりは、大盛況で用意した工作（願い星）の材料が無くなり、予定より早く終わってしまいました。工作の参加者に話を聞くと、他の地区からお越しいただいた方も多かったようでした。



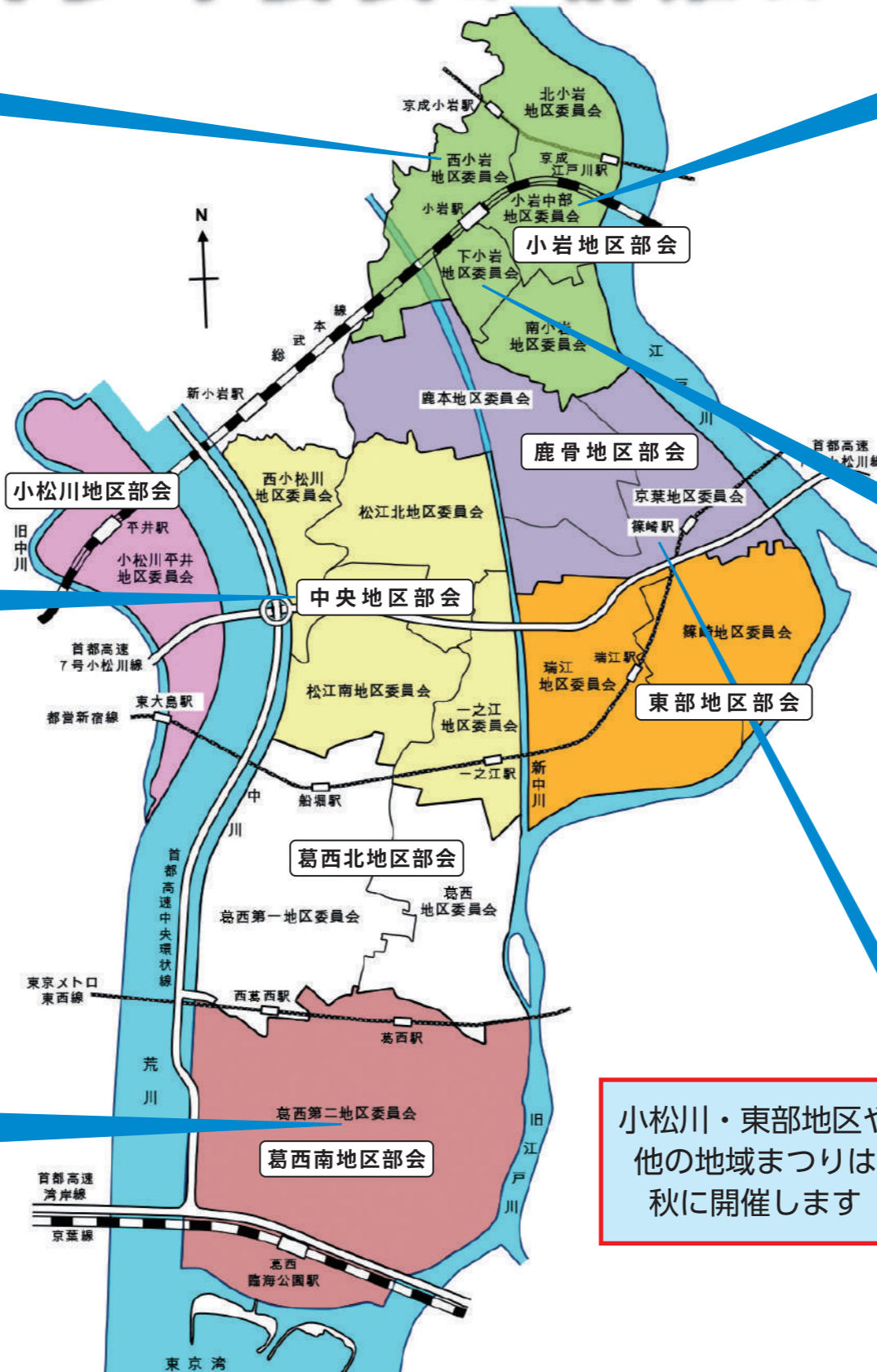
鹿骨区民館まつり

5月21日、鹿骨地区の最大イベントの鹿骨区民館まつりが4年ぶりに開催されました。

来場者数4万5千人は過去最高の人出で、青少年委員会のブースは「プラ板工作」をしましたが、午前中には在庫がなくなってしまう、急ぎよハンドスピナーを用意して、それも子どもたちの列が途切れることがないほどの大盛況ぶりでした!



小松川・東部地区や他の地域まつりは秋に開催します



西小岩まつり

5月28日、4年ぶりに開催された西小岩まつりでは、用意していた材料が無くなり、手作りコーナーは早々と終了しました。小岩四中ボランティアの皆さんが、一生懸命手伝ってくれて助かりました。



中央地域まつり

5月28日、4年ぶりに中央地域まつりが開催されました。青少年委員は中学生ボランティアとともに、「わくどきプレイパーク」を担当しました。

どのコーナーも笑顔いっぱいの多くの来場者で大盛況でした。



葛西「四季の道」・新田地域 ふれあいフェスティバル

5月28日、自由広場（新田6号公園）周辺にてフェスティバルが開催されました。さわやかなお天気の中、5万2千人の来場者が訪れ、ステージも模擬店も大盛況でした。

葛西第二地区委員会では「竹トンボ」と「プラ板」の工作ブースを出店しました。常時行列ができるほど大人気で、子どもたちの真剣な眼差しや笑顔であふれていました。



青少年委員紹介

青少年委員の方々を皆さんにもっと知ってもらうため、今号よりインタビュー形式で青少年委員紹介を始めます。

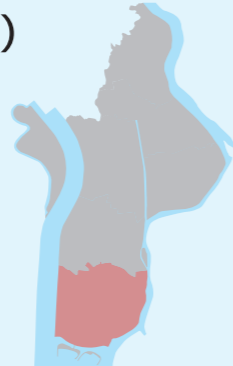
氏名 川島 英夫 (青少年委員会会長)

所属 葛西南地区部会 (葛西第二地区委員会)

- ①臨海小PTA本部の役員になり、地区委員会の会合に出席するようになって当時の地区委員長さんより推薦されました。
- ②特技は相手の方と会話する事で、コミュニケーションをとる事です。
- ③コロナ禍で多くのイベントができなかったので、青少年委員会が関わるイベントで、子どもたちの笑顔を多く見たいです。

最近読んだ本や好きな本、お勧めしたい本は

「珈琲屋の人々」と「阪急電車」です。
特に阪急電車はたまたま乗り合わせた人々の、人間模様が実によく書いていて面白いです。
またお勧めしたい本は内田康夫の浅見光彦シリーズの全て!!
同じ内田康夫の記念碑的名作「死者の木霊」は特に読み応えのある一冊です。



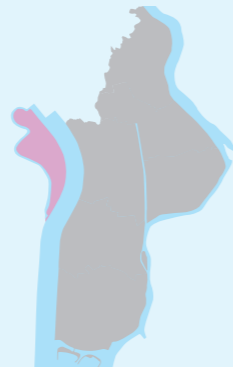
氏名 塚原 久美子

所属 小松川地区部会 (小松川平井地区委員会)

- ①当時の小松川地区の青少年委員さんに声を掛けていただき、やってみようと思いました。
- ②現在犬6匹、猫2匹を飼っている事もあり、他の犬の警戒心をなくするのは早く、すぐ仲よくなれるのが特技かも。犬、猫との接し方を教えられると思います。
また、最近PCゲームのマイクラ (マインクラフト) の動画にはまっています。マイクラを知らない方も多いと思いますが、マイクラは、ブロックを組み合わせて作られた世界を冒険し、一から自分だけの世界を作り上げる、目的や縛りのない自由なゲームです。マイクラは、人気があるだけでなく教育にも役立つゲームとして注目されています。
- ③2つあります。
犬や猫を沢山飼育しているので、ペットを通じて命の大切さや、世話をする楽しさや大変さを子どもたちに教えたいです。
また、マイクラを道具として子どもたちとコミュニケーションしたり、プログラムを楽しむようなイベントを企画したいです。

最近読んだ本や好きな本、お勧めしたい本は

赤川次郎さんの本が好きでよく読んでいます。またお勧めしたい本はゲーム実況者のおんりーさんのエッセイ本「急がばナナメ」です。



氏名 笠井 雅世

所属 鹿骨地区部会 (京葉地区委員会)

- ①京葉地区委員会の広報部員をしていた時に、青少年委員に推薦されました。
- ②趣味はコーラスと旅行。
コロナ禍前は、PTAコーラスの一員として、年に1回の交歓会に参加していました。成人式では皆さんの前で「大地讃頌」を合唱していました。
また今年は旅行で、黒部渓谷でトロッコ列車に乗り雪が残る山脈など素晴らしい景色を満喫しました。
- ③すすくすくスクールのクラブマネージャーを20年近く続けたことが誇りです。
携わることでできた人脈は何者にも変え難い宝です。スタッフと共に行事を計画し運営出来た事も経験値となっています。並行して学校応援団コーディネーターとして今後は防災に力を入れて、地域、保護者、中学生、児童らと共に学べる行事を提案していきたいと考えます。

最近読んだ本や好きな本、お勧めしたい本は

お勧めしたい本は、萩尾望都の「ポーの一族」です。
高校の漫画研究会で友人に紹介され、衝撃を、受けました。美しい繊細な絵と物語は小説のようです。SF作品では「百億の昼と千億の夜」と「11人いる！」は秀逸です。



質問は ①青少年委員になったきっかけ、②趣味や特技、自慢できること ③今後青少年委員としてやってみたい事です。また今号では、最近読んだ本や好きな本、お勧めしたい本を、皆さんに紹介頂きました。



氏名 大橋 一成

所属 東部地区部会 (瑞江地区委員会)

- ①今は閉校してしまった下鎌田西小のPTA会長を仰せつかり務めておりました。当時の町会長さんと地区委員長さんより推薦されました。
- ②趣味は、野球&ソフトボールで、今も続けています。特技は各種駒まわし (ベーゴマを除く) とマンカラです。
左の写真は特技の駒まわしと、趣味の野球です。
- ③特技のマンカラを活かしたイベントや大会を開催したいです。
江戸川区の子どもたちにマンカラが浸透しているのはすすくすくスクールの指導員さんが始めた!と都市伝説のように語り継がれています。

最近読んだ本や好きな本、お勧めしたい本は

稲盛和夫さんの「生き方」です。二つの世界的大企業京セラとKDDIを創業し、JALの経営再建を成し遂げた当代随一の経営者が、その成功の礎となった実践哲学をあますところなく語りつくした人生論の決定版です。



平和とSDGsを共に考える研究グループ

子どもたちに平和の大切さとSDGsを理解してもらいたい

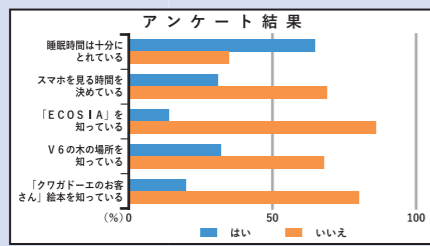
第16回「10代の挑戦EDOGAWA」(3/12東部区民館)でプロテクトミライ(注)の周知とSDGs活動を推進するため、スタンプラリーとプロテクトミライのパネル展示ブースが設けられたので、参加協力しました。

当日は、スタンプラリーの台紙配布と景品交換を担当する一方、SDGsにちなんだ5つの質問コーナーを独自に展開して、来場者との交流を楽しみました。質問コーナーでは、「ボトルキヤップを使って、「はい」「いいえ」の2択をペットボトルに入れる方法をとりました。

これを機に、共育プラザ各館とイベント協力を進め、平和とSDGsについて考えてもらえる企画を進めていきたいと思えます。

文責 中央地区部会 齊田 治

(注) プロテクトミライ：未来の地球を守るためにSDGsについて知り、考え、行動する参加型イベントです。本イベントには昨年5,534人が参加しました。



子どもの文化体験研究グループ

子どもたちに地元文化を継承し「ななめの親子関係」を創る

子どもたちが社会性、多様性を理解する良い大人に育つには、地元の文化を知り、より多くの良い大人とふれあうことが大切です。家庭が「縦の親子関係」なら、子どもと、親以外の地域の大人との繋がりを「ななめの親子関係」と考え「わが街たんけん隊」をツールに地元文化を学びながら、ななめの親子の絆を繋ぐ活動を区内各地で展開しています。過去15年間に7回、東葛西、篠崎、下小岩、平井・小松川、中央、葛西北でわが街たんけん隊を実施し、「下小岩たんけん隊」と「平井・小松川たんけん隊」は地域の方々が継承し現在も実施しています。今年11月19日(日)に葛西南地区(東西線以南の11小学校)対象に「葛西南たんけん隊」を実施します。

文責 葛西南地区部会 山本 祐子



篠崎たんけん隊



新川たんけん隊(葛西北)

小松川千本桜まつり

4月2日に4年ぶりとなる小松川千本桜まつりが開催されました。当日は少し風が吹き桜の花びらが舞い散る中、大勢の人が集まりました。私たちが青少年委員会小松川地区部会は工作教室を開催し、クルクルレインボーを子どもたちと一緒に作成しました。200セットを用意しましたが、大勢の行列ができ午後1時までに用意した材料が全て無くなるほどの盛況でした。久しぶりに子どもたちと一緒に活動し完成した作品を楽しそうに眺める多くの笑顔にふれることができました。今年度は子どもたちと一緒に活動できる機会も増える事を楽しみにしています。

また小松川千本桜まつりは、青少年委員活動70周年を迎える令和5年度最初の活動となり、70周年を記念して作成した青少年委員会活動パネルと幟り旗の初めての披露の場となりました。(巻頭写真は活動パネルを熱心にご覧になる齊藤江戸川区長と江頭小松川平井地区連合町会長です。)

文責 小松川地区部会 近藤 幹郎



752名が参加！「ふれあいニューイヤーマラソン大会」

1月15日江戸川区陸上競技場にて、葛西第二地区委員会主催の「ふれあいニューイヤーマラソン大会」が3年ぶりに開催されました。コロナ禍での開催のため、受付時間をレースごとに分散させたり、開会式を行わない等、密を避けるために様々な工夫や対策を講じての実施となりました。対象は小学生で、1・2年生は親子マラソンです。合計752名が走りしました。親子で手をつないでゴールする姿や、最後まであきらめずに走りぬく姿、観客席からの声援で再び加速する姿など、胸が熱くなる場面がたくさんありました。

当日の協力者は210名。地区委員をはじめPTA、消防団、清新JAC、計測工房、東京医薬看護専門学生のみなさんなど、多くの方の協力のもと、無事に終えることができました。

文責 葛西南地区部会 三木 佳代

